

ねづくプロジェクト@福岡市植物園ニュース 2022 11 月号

# ねづくニュース



【目次】  
第2回活動ワークショップ  
「宿根草ガーデン制作ワークショップ」  
を開催しました！  
一人一花サミット 2022 トークセッション  
ゲストティーチャー紹介

2022  
11月号



# 10/30 第2回活動ワークショップ 今回の活動場所は「福岡市動物園！！」 「宿根草ガーデン制作ワークショップ」を開催しました！

10月30日（日）に一人一花サミット2022に合わせて「宿根草ガーデン制作」ワークショップを行いました。当日は23名の方にご参加いただき、動物園エリアに活動場所を広げて、福岡市植物園のティーチングガーデナー ト部仁美先生と亀崎開楽園の亀崎正吾先生他、多くのゲストティーチャーに加え、西日本短期大学緑地環境学科の学生さんにもご協力いただきました。  
今回はマレーグマ舎周辺で4つの宿根草ガーデンを制作しました。新たな空間や景色をつくり出すという難しい内容でしたが、みなさん悩みながらも先生の適格なアドバイスを受けることでスムーズに作業を進めることができました！

当日は無料開園日の日曜日で動植物園が大変賑わっている中、多くの方に制作中の様子を見てもらい、通る方々から「きれいになったね」などのお声をいただきました！この取り組みに一人でも多くの人に興味をもってもらい、活動の輪を拡げていきたいです。  
また、今回のワークショップの実施にあたり、(株)平田ナーセリー、(株)日比谷花壇、(株)中村緑地建設など企業様にサポートいただきました。ご参加いただいたみなさん、本当にありがとうございます！今後も、市民や企業を巻き込みながら動植物園のみならず、まちなかで宿根草花壇を中心とした花やみどりのある風景を作り出す人材の育成に取り組んでいきます！



## グループ1 「案内看板前」

来園者が立ち止まる案内看板の前の花壇で、熱帯植栽のコンセプトに合わせて明るい色合いの花を植栽しています。



## グループ4 「トイレ前傾斜地」

斜面でなかなか植物が育たない場所に、石を設置して植栽しやすくしました。



## グループ3 「コーナー部」

既存樹木を活かして宿根草で花壇に高低差をつけ、無機質なフェンスに木製のラティスをつけることで明るい空間になりました。



## グループ2 「マレーグマ舎横」

既存の低木で閉鎖的な空間だった場所を、開放的な明るい花壇に替えました。





# 一人一花サミット 2022 トークセッション

一人一花運動に取り組む活動団体・市民・企業等が一堂に集う花と緑のイベント「一人一花サミット 2022」が10月29日に開催され、卜部仁美先生が「一人一花運動の次世代の人材づくり」をテーマに福岡市長、石原和幸氏、中村学園大学の学生さんとトークセッションを行いました。

「花を植えることが目的」ではなく、「花づくりを通してまちづくりをする」という一人一花運動の目的を共有するとともに、植物園でプロのガーデナーをしっかりと育成し、その人材がまちに出て活躍することを目指す「ねづくプロジェクト」についておおいにPRしました。このサミットをきっかけに更なる活動につなげていきます！



## ゲストティーチャー紹介

ねづくプロジェクトが目指す「共創のまちづくり」の理念に賛同し、活動を支えてくださっているゲストティーチャーのみなさまをご紹介します。

### 清水 亮史 先生 (GardenFactory 創都)



近年は住環境に利便性や快適性が求められることから、コンクリートや舗装など地面を殻で覆う事が増えています。殻の上に種を撒いても水をやっても流れてしまうだけです。本当の快適な暮らしを求めるなら、まずは土を耕す事が基本で、これは日本のどこでも共通する事です。福岡はそのお手本となる街づくりができる所です。地面も思考も耕すところから！

### 小笠原 哲 先生 (みちくさ)



地元の京都では、自生している植物を種から育てて、ボランティアさんと植樹活動をしています。福岡市植物園では、子どもたちが落ち葉をごみではなく、資源や材料として観てもらえるように、参加者といっしょに落ち葉堆肥をつくっています。想い出と好奇心のつまった植物園にしていきたいです。

### 亀崎 正吾 先生 (亀崎開楽園)



普段は、庭の設計から施工まで、外構工事全般の設計施工をしています。ウッドフェンス・ウッドデッキなどの木工事や、団地再生を外周からリノベーションしたり。床屋さんみたいになっています。植物園では、コーナポイントを少しずつよくしたいと思います！

### 清水 俊治 先生 (中村緑地建設)



普段は、樹木医として樹木を観察することが多いですが、これまで行ってきた樹木やバラの管理などを、花壇の草花の管理に応用できるように、わかりやすく参加者のみなさんに伝えています。まずは、植物の生長に欠かせない土壌についてみなさんの疑問質問にお答えします。そして、自分もみなさんといっしょに勉強しています。

### 藤井 宏海 先生 (福岡市植物園サポートガーデナー)



ねづくを通して、講師の皆さんや参加者の方々から、たくさんの刺激や学びがある楽しい日々を過ごしています (o^^o) ありがとうございます！絵やスケッチを描くことが好きなので、ねづくニュースに掲載している、堆肥ヤードのスケッチなどを描いています！



活動のご確認・  
参加申込みができます。

お問い合わせ

ねづくプロジェクト@福岡市植物園

(事務局：(株)ランドスケープむら)

✉ nezukuproject@gmail.com

☎ 092-541-8845 (受付時間 平日 9:00 ~ 17:00)

follow us



@nezukuproject



@nezukuproject

